

世界の

地球上から飢餓や食料不安、
栄養失調を撲滅するために

食料安全保障の現状と FAOの活動について

国際連合食糧農業機関

2018年6月13日[水]

18:45~20:30

会場：聖イグナチオ教会主聖堂

参加費
無料



講師：国際連合食糧農業機関 (FAO)
駐日連絡事務所所長

Mbuli Charles ボリコ氏

Mbuli Charles Boliko 氏はコンゴ民主共和国出身、キサンガニ大学で学士（心理学）及び修士（産業心理学）取得。キンシャサにある商科大学（Institut Supérieur de Commerce）で3年間教鞭を執った後、1990年に来日し名古屋大学大学院国際開発研究科より国際開発論で博士号を取得。1年程名古屋大学での講師の後、1997年より国際連合食糧農業機関（FAO）に勤務。1998年から2003年迄FAO ニューヨーク連絡事務所、2003年より事務局長官房付としてローマ本部へ異動。2009年からはFAO 人事部雇用・配属担当チーフ。2013年8月、FAO 駐日連絡事務所の初の外国人所長として着任。FAO での勤務の傍ら客員教授として人事管理及び行政・開発について母国コンゴ民主共和国・カトリック大学で教鞭も執る。